

いざ夢の舞台へ

ドラフト2 楽天入団

太田



硬式野球部
秋季リーグ戦で惜しくも優勝を逃し、春秋連続での全国大会出場とはいかなかった大商大。しかし、今年度のドラフト会議において3年振りに2名のプロ野球選手が誕生した。太田光が東北楽天ゴールデンイーグルスから2位、滝野要が中日ドラゴンズから6位で指名され、大商大が歓喜に沸いた。



2018プロ野球ドラフト会議を見守る会
10月25日 大阪商業大学ラビックホール

10月、東京都内で「2018プロ野球ドラフト会議」が行われた。硬式野球部員や在学生など多くの人が見守る中、まず名前を呼ばれたのは東北楽天ゴールデンイーグルスから2位指名を受けた太田光（公共経営4・広陵）だった。続いて、滝野要（公共経営4・大垣日本大）が中日ドラゴンズから6位で指名を受け、大商大から2人のプロ野球選手が生まれた。

この時のことを太田は「ずっと目標にしていたドラフト会議で、自分が呼ばれたことを実感するのにしばらく時間がかった」とうれしそうなお表情で振り返った。また、滝野は「ずっと好きだった

ドラフト会議



中日の選手として夢を叶えることができ、幸せだと満足そうに語った。

プロの目標

プロ野球選手への夢を自らの手でつかみとった2人は「まずは開幕1軍として将来は10年間正捕手を務められるような選手になりたい」（太田）。

2人の4年間

太田と滝野は共に、1年の春からメンバー入りし、太田は正捕手として大商大を6度のリーグ優



勝に導き、4年には主将も任せ、「チームを勝たせるキャッチャー」としてスカウトの注目を集めてきた。

また、滝野は常に高い打率をマークし、4度のベストナイン賞を獲得。さらに今年度の秋季リーグ戦では大学通算101安打を記録し、特別賞も受賞した。

秋季リーグ戦、5季連続での優勝を目指して挑んだ大商大だったが、第3節で京都産業大学に敗れ、勝ち点を奪われてしまった。その後、大商大は全ての試合に勝利し、勝率では上回ったものの京産大が最後まで逃げ切り、あと一歩優勝に届かなかった。今回は悔しい結果に終わってしまったが、来年こそは関西王者へと返り咲いてほしい。文/山口達也

秋季リーグ戦

ドラフト6 中日入団



滝野

第22号	1面
4面	硬式野球部
ウエイトリフティング部	ボクシング部
	日本拳法部
3面	2面
バスケットボール部	ソフトテニス部
他	他

「関西六大学野球秋季リーグ戦」	
準優勝(9勝2敗)	大西 広樹(公共経営3・大商大)
最優秀投手賞	大西 広樹(公共経営3・大商大)
ベストナイン(投手)	植田 勝至(公共経営4・興國)
ベストナイン(外野手)	笹治 健汰(経営3・近江)
担当記者クラブ賞	滝野 要(公共経営4・大垣日本大)
特別賞	
「関西六大学野球秋季新人戦」	
優勝	町田 優太(公共経営2・神戸国際大附属)
最優秀選手賞	



第96回関西学生サッカーリーグ(通年)
4月8日~11月24日 大阪大第1グラウンド他

2部Aリーグ通年
4位
＜12勝8敗2分＞

「第96回関西学生サッカーリーグ(通年)」
2部Aリーグ 4位(12勝8敗2分)
優秀選手賞(FW) 橋本 啓吾(公共経営2・阪南)

「第96回関西学生サッカーリーグ(1部・2部A入替戦)」
敗北(2部A残留)

硬式庭球部

関西大学対抗テニスリーグ戦男子5部予選リーグ戦初戦となり、昨年に創部初となる男子2部リーグ突破を果たした大商大硬式庭球部が、今年もDブロックを3勝1敗1分の成績で2年連続で決勝へと進出した。昨年の優勝は逃したが、2年連続での決勝トーナメント進出を決めた。主将・川崎一樹(経済3・大商大)は、「今年も全力を尽くし、今年も安定して進出を突破したい」と意気込みを語った。



関西学生リーグ戦(5勝13敗)
2部
10位

「関西学生バスケットボールリーグ戦」
2部 10位(5勝13敗) (3部自動降格)

「関西学生バスケットボール新人戦」
3回戦敗退

バレーボール部

秋季リーグ戦
〈Aブロック0勝5敗・下位リーグ4勝1敗〉
男子1部8位

アメリカンフットボール部

関西学生リーグ戦 〈3勝2敗〉
Div3(3部)Eブロック
5大学合同チーム **2位**
(大商大・流通科学大・吉備国際大・大阪経済法科大・京都外国語大)

卓球部

秋季リーグ戦 〈4勝1敗〉
男子3部A **2位**

ラグビー部

関西大学リーグ戦 〈0勝3敗〉
D(4部)1リーグ **4位**
順位決定戦 **10位**

■硬式野球部は、1面掲載
■準硬式野球部は、2面掲載

サッカー部

念願の1部昇格を賭けた近畿大学との入替戦では、前半20分の中盤からの浮き球を受け、左衛門の藤原が、長崎屋がゴールを決めて先制点を挙げた。このままの勢いで上位へ駆け上がりたかったが、ここから苦しい試合が続いてしまっただけでなく、後半は先制点を奪われ、先制点を奪ったが、直後に同点に追いつかれ、後半には勝ち越しゴールを決めた。後、後半11分の結果は5位に終わった。しかし、通年総成績は4位と見事に大商への出場を果たした。(公共1・北摂3田)



男子5部予選リーグ
2年連続予選突破

「関西学生テニス選手権大会予選」
男子ダブルス 3回戦敗退 宇谷 将(経済4・大商)・川崎 一樹(経済3・大商大)
男子シングルス 3回戦敗退 大野 翔希(経営2・枚方津田)・坂口 希樹(経営1・大商大)

「関西大学対抗テニスリーグ戦」
男子5部 決勝トーナメント 2回戦敗退
予選リーグブロック 2位(3勝1敗)
女子5部 予選リーグブロック 4位(1勝3敗)



秋季リーグ戦(1勝4敗)
男子2部
5位

「関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦」
9月22日~23日 マリンテニスクラブ・北村

フィールドホッケー部

秋季リーグ戦 〈0勝4敗1分〉
男子3部 **6位**

ポウリング部

秋季リーグ戦 〈4勝6敗〉
4位

「第72回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会」
男子の部 2回戦敗退

「第73回三笠堂杯全日本学生ソフトテニス選手権大会」
男子の部 4回戦敗退 西川 裕介(経済3・北摂)・森本 健太(経営4・経済商業)

「第60回全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会」
男子の部 2回戦敗退 藤田 凌羽(経営2・西成南)

「関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦」
男子2部 5位(1勝4敗)

全日本大学選抜ベスト4



清瀬杯第50回全日本大学選抜硬式野球大会
8月27日~30日 札幌市東区球場

秋季リーグ

新チームで挑んだ秋季リーグ戦。春に優勝を果たした大商だったが、結果は6位で敗退。新主将の北原拓磨(経済3・明徳義塾)は、「先輩の期待に応えられなくて悔しい」と言葉を垂らされた。しかし、来季に向けては、「この悔しさをねじりを付けていきた」と前を向いて話してくれた。これからが正念場だ。輝きを放ち、再び王座へと返り咲け。

体育会本部 NEWS

第69代体育会本部の新役員が決定しました。今回は新役員3名に自己紹介と、委員長からは「今後の体育会本部」について聞いてみました。
文・金城南美(経営4・那覇商業)

副委員長

- ① 和田勝海(高2・市立和歌山)
- ② 釣りにハマっています。
- ③ 居心地のいい部内を作っています!

副委員長

- ① 上野太一郎(経済2・大商大)
- ② ビデオゲーム、映画鑑賞
- ③ 委員長の支えになれるよう頑張ります!!

委員長

- ① 竹中裕哉(経済3・大商大)
- ② バスケットボール
- ③ 明るく元気をモットーに頑張っていきます!!

新委員長に聞いた

「今後の体育会本部」
今年は副委員長が2人とも2年生となり、今までにあまり例のない新体制となりました。新役員3人でしっかりと体育会本部を引っ張っていき、学年問わず全員が一致団結し、それぞれがそれぞれを支えあえる体育会本部を目指します。まだまだ未熟ですがよろしくお願いします。

大商大クラブ

あるある大捜査!!

今回は経験者なら「あるある」って聞いたくなるような、体育会系クラブならではの「あるある」を捜査してみました。
文・大商大体育会本部・公共経営2・大商大

卓球部 明らかに相手ボールのときでも、どりあえず「マイボール!!」と叫んでおく。

サッカー部 人混みにいると思わず人かをかわしてしまおう。

アメリカンフットボール部 ウェイトリフティング部 実際は腕相撲の強さは並ぐらい。

スーパープレーやフラインクの後は 凡ミスをしがち。

冬の練習が 陸上部みたいになってしまおう。

硬式庭球部 監督が来たら急にしやきよとなる。

バレーボール部 道着や防具がなかなか乾かない。

日本拳法部 みんな高校の時から体型が変わりすぎ。

学生記者大募集中!

スポーツ観戦が好きなあなた、一緒にクラブ生の応援に行きませんか? 大学で何かに挑戦したいあなた、一緒に「商大スポーツ」を作りませんか?

お問い合わせは
体育会本部まで
☎ 06-6788-7052
部室:総合体育館(北側)1階

◆合気道部

「第49回全日本学生合気道競技大会」
乱取競技男子団体戦 1回戦敗退
演武競技男子対徒手の部 予選敗退
寺田 晃平(経営4)・山本 広大(経済2)
演武競技男子対武器の部 予選敗退
齋 航貴(経営4)・芳村 雄大(公共1)

◆剣道部

「第66回関西学生剣道優勝大会」
男子団体 1回戦敗退

◆自動車部

「第17回全日本学生ドリフト王座決定戦 西日本大会」
2回戦敗退 丸山 隆光(経済4)

◆卓球部

「第85回全日本学生総合卓球選手権大会(個人の部)関西予選」
男子シングルス 5回戦敗退 金谷 凌(高4)

◆ライフル射撃部

「第65回秋季全関西学生ライフル射撃選手権大会」
10mS60MM 89位 林 希剛(経営2)
女子マスターズ 4位 松原 多恵(高2)

◆ボウリング部

「第57回関西学生ボウリング選手権大会」
男子マスターズ 16位 堂島 剛大(公共1)
女子マスターズ 4位 松原 多恵(高2)

◆陸上競技部

「関西学生陸上競技個別選手権大会」
男子100m 予選158位6分 寛見 元輝(経営2)
男子200m 予選138位6分 植田 司朗(公共経営4)
男子800m 予選67位 松本 浩生(経営3)
男子4×100m 予選2組7位
西中 隆斗(経営3)・寛見 元輝(経営2)・松本 浩生(公共経営4)・植田 司朗(公共経営4)



桑畑

**プロテスト合格!
デビュー戦勝利!**

◎六島ボクシングジム
プロデビュー戦
9月29日 雲南省昆明市金源ショッピングセンター(中国)

ボクシング部
精神面でも大きく成長できた」と大商大での4年間を語った桑畑は、プロテストでも緊張することなかったという。
9月29日に中国の雲南省昆明市の金源ショッピングセンターで中国人選手とのプロデビュー戦が行われ、ボクシング部の前主将 桑畑隼生(商大4・浪速)がB級男子のプロテストに見事合格した。
桑畑は中学の頃から現在所属している六島ボクシングジムでボクシングを始め、大商大では4年生時に主将としてチームをまとめた。「先輩や後輩から常に刺激を受けて

「第73回国民体育大会(福井しあわせ元気国体)」
成年男子バンタム級 3位 池側 純(公共経営3・興國)
成年男子ライト級 2回戦敗退 作嶋 秀哉(公共経営2・和歌山工業)
成年男子ライト級 2回戦敗退 細野 勝梧(公共1・札幌工業)
成年男子フライ級 1回戦敗退 伊藤 龍(経済2・尽誠学園)

「第88回全日本ボクシング選手権大会(いきいき茨城ゆめ国体ボクシング競技大会)」
バンタム級 ベスト8 池側 純(公共経営3・興國)
ライト級 1回戦敗退 丸石 迅矢(公共経営3・岡豊)
ライト級 1回戦敗退 細野 勝梧(公共1・札幌工業)
フライ級 1回戦敗退 伊藤 龍(経済2・尽誠学園)



**アマ通算
36戦25勝4KO11敗**

「第54回西日本学生新人ウエイトリフティング選手権大会」
85kg級 優勝 吉川 敦啓(公共1・須磨友が丘)
105kg級 準優勝 田神 一真(公共1・加世田常潤)
+105kg級 3位 丸山 竜弥(商1・若狭東)

「第73回国民体育大会(福井しあわせ元気国体)」
成年男子56kg級 3位 東野 凌大(公共経営3・徳島科学技術)

「第66回関西学生ウエイトリフティング選手権大会」
男子団体 優勝(4年連続57回目)
男子56kg級 優勝 東野 凌大(公共経営3・徳島科学技術)
男子77kg級 優勝 一瀬 駿(経済3・星槎国際)
男子85kg級 優勝 塚原 湧斗(経済3・大阪産業大附属)

「文部科学大臣杯第64回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会1部」
団体 9位 東野 凌大(公共経営3・徳島科学技術)
56kg級 優勝 脇田 勇平(公共経営4・薩摩中央)
62kg級 3位

ウエイトリフティング部
関西学生ウエイトリフティング選手権大会で大商大ウエイトリフティング部が今年も関西王者に輝いた。初日、56kg級で東野凌大(公共経営3・徳島科学技術)が準優勝、

69kg級では岡田(公共経営4・徳島科学技術)が3位となり、1日目に終わった3階級全ての表彰台入りを果たした大商大は、団体戦首位発進となった。
続く2日目も、77kg級の一瀬駿(経済3・星槎国際)と85kg級の塚原湧斗(経済3・大阪産業大附属)が優勝するなど順調にポイントを重ねた。そして最後まで逆転した。そして最後まで逆転した。そして最後まで逆転した。



前田

全日本学生準V

4年間の集大成

「第19回西日本学生拳法個人選手権大会」
男子参段以上の部 ベスト8 前田 稔輝(経営4・大商大)
男子初段の部 ベスト8 眞野 篤輝(経済2・大商大)

「第34回全日本学生拳法個人選手権大会」
男子の部 準優勝 前田 稔輝(経営4・大商大)
3回戦敗退 大西 晴剛(経済2・大商大)

「第63回全日本学生拳法選手権大会」
男子団体 2回戦敗退

日本拳法部
全国のつものたちが日本一を争う全日本学生拳法個人選手権大会で、今年が最後の挑戦となった前田稔輝(経営4・大商大)が大昇格の成績を収めた。あまり調子がよくなかったという前田だったが、苦戦しながら迎えた準決勝の相手は、高校時代からのライバルで、明治大学の主将・松本選手だった。3本勝負となる同大会で、相手に先手を打たれ一本を奪われたが、すぐに一本を取り返した。その後も接戦が続いたが、絶対に勝つこと強い気持ちで判定勝ちを決め、見事に決勝進出を果たした。
だが決勝戦は終始劣勢での戦いとなり、最後まで諦めずに技を仕掛けるも、本連取され敗れてしまった。しかし、前田は「全て出し切った結果なので悔いはない」と落着いた様子で話した。卒業後はボクシングへと転向し、プロとして世界一を目指すと前田。今後も挑戦を続ける彼の活躍を楽しみにしたい。
文/東口瑠泉 (経営1・和歌山商業)

4年連続 関西制覇 V57



第66回関西学生ウエイトリフティング選手権大会
12月7日・8日 はびきのコロシアム

商大スポーツ SHODAI SPORTS
発行 大阪商業大学
編集 学生生活課 課外活動支援室
印刷 共同精版印刷株式会社

我楽多
4年間の集大成となる今年では、前号に引き続いて準硬式野球部を担当しました。これが最後の原稿になるので、自分らしい言葉で仕上げるように心がけて納稿のいきなり、記事が書きあがったと感じています。これからの商大スポーツは後輩たちに託して、今後はみんなの頑張りに期待したいと思います。今度あたりがどうございました。(太田)
▼今号で最後の商大スポーツとなり、さらさらな状態から自らのアイデアで表現するという作業が難しかったですが、完成したときには多くのやりがいを感じたことができた。また、この経験の中で、たまたまの方に出会えたことで大きく成長もできました。今後は後輩たちの頑張りを励みにしていきます。(金城)
▼今号で広報部長になってから、度々商大スポーツの部長として他の部員の手本となるように、取材や写真撮影にも力を入れて取り組みました。全体を考えた行動することは大変でしたが、自分自身の成長を感じることができました。これから多くの人にクラブ生の活躍を知ってもらえるように頑張ります。(大崎)
▼1面の硬式野球部ではドラフト会議を取り上げました。ドラフト会議での取材は、初めての経験だったので不安でしたが、みんなの協力のおかげでいい写真を撮ることができました。また、納得のいく原稿を書くこともできました。自分なりにプロ野球選手誕生の瞬間の感動を少しでもお伝えできるように頑張ったので、ぜひ読んでほしい。(山口)

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校